

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-01		
施設名	ふるさと文化館				
所在地	南千住六丁目63番1号（南千住図書館併設）				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成9年	3,600,000	0	0	3,600,000
増改築①					
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	平成10年5月1日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成10年5月1日		職員数	11	0
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上4階、地下1階	
面積	敷地面積		2,724 m ²		
	延床面積		2,585 m ²		
設置目的・経緯	区民の生涯学習の振興並びに荒川区における教育、学術及び文化の発展に寄与するため				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区立荒川ふるさと文化館条例				
駐車場の状況	8台	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	80台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	まで
事業内容	①荒川区の考古、歴史、民俗等資料の収集及び保存②常設展示及び特別展示事業（企画展等）③資料の専門的な調査研究④文化財の保存及び活用⑤郷土学習のレファレンス（資料紹介や学習アドバイス、団体見学対応等）⑥教育、学術及び文化の振興に関する事業（各種講座）⑦伝統技術の保護と育成（あらかわ学校職人教室、伝統技術展、荒川区伝統工芸技術継承者育成事業、伝統工芸ギャラリーの運営等）					
対象者	区民全般・荒川ふるさと文化館利用者等					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）				
	休日	月曜日（祝日、振替休日の場合は翌日）、毎月第2木曜日、年末年始（12月29日～1月4日）、館内整理日				
施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度（見込み）
	観覧者数（有料）（人）	2,539	3,086	1,386	1,956	2,200
	観覧者数（無料）（人）	14,498	14,409	10,082	10,231	10,800
	観覧者 合計（人）	17,037	17,495	11,468	12,187	13,000
	伝統工芸ギャラリー入場者（人）	19,897	20,085	14,178	16,797	15,000
	視聴覚室（件）	12	13	3	6	10
	研修室（件）	21	29	9	17	20
	開館日数（日）	286	259	204	231	213
に指定等管理						
備考	郷土学習室を平成28年度末でリニューアルし、あらかわ伝統工芸ギャラリーを平成29年度5月に開設した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月29日より休館。令和2年6月よりギャラリー展示等から段階的に再開し、7月より常設展示を再開した。令和3年4月28日から5月31日まで閉館。					

III 財務諸表

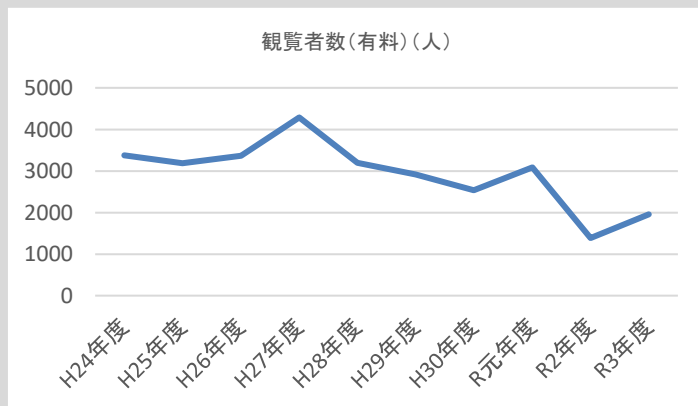
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	行政費用	給与関係費	58,547	55,063	▲ 3,484	地方税等	0	0
物件費		47,048	50,981	3,933	国庫支出金	1,111	1,579	468
維持補修費		4,049	18,615	14,566	都支出金	2,905	2,369	▲ 536
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等		9,094	8,795	▲ 299	使用料及び手数料	164	253	89
減価償却費		40,414	40,414	0	その他	335	499	164
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	4,515	4,700	185
賞与・退職給与引当金繰入額		7,274	3,455	▲ 3,819	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 161,911	▲ 172,623	▲ 10,712
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		166,426	177,323	10,897	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 161,911	▲ 172,623	▲ 10,712
特別費用(g)	0	2,734	2,734	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	▲ 2,734	▲ 2,734	当期収支差額(e)+(h)	▲ 161,911	▲ 175,357	▲ 13,446	
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	2,865	2,267	▲ 598
	有形固定資産	567,272	531,566	▲ 35,706	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	23,129	21,125	▲ 2,004
	建物	1,492,706	1,497,414	4,708	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 925,434	▲ 965,848	▲ 40,414	退職給与引当金	23,129	21,125	▲ 2,004
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	25,994	23,392	▲ 2,602	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	783,118	752,908	▲ 30,210	
建設仮勘定	2,734	0	▲ 2,734	正味財産の部合計	783,118	752,908	▲ 30,210	
その他の固定資産	239,106	244,734	5,628	負債及び正味財産の部合計	809,112	776,300	▲ 32,812	
資産の部合計	809,112	776,300	▲ 32,812					
備考	行政費用では、R2年度に中止した伝統技術展について、R3年度は代替事業を実施したため、物件費が増加した。また、維持補修費及び有形固定資産（建物）については、防火設備改修工事を実施したため、増加している。行政収入は、国庫支出金、都支出金の他、使用料及び手数料としてふるさと文化館入館料等、その他収入として有償頒布物代金がある。							

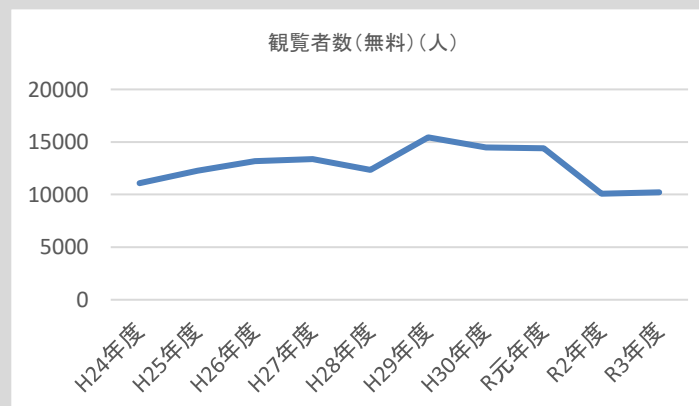
指標		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	57	59	62.0	64.5	
	1㎡当たりコスト(円)	70,670	85,484	64,392	68,608	
	来館者1人当たりコスト(円)	9,180	11,000	8,233		
	開館一日当たりコスト(円)	638,650	853,058	572,235		
備考	前年度と比較して全体的にコストが減少しているが、これは来館者数の減少以上に、行政費用の物件費や維持補修費等が減少したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	観覧者数(人)	目標値 -	20,000	13,500	15,000	15,000
	実績値	17,037	17,495	14,178	16,797	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○開設後20年以上が経過し、特定天井の改修のほか、空調設備、照明設備、給排水設備等の老朽化が進んでおり、改修を検討する必要がある。 ○観覧者を増加させるため、奥の細道コーナーや伝統工芸ギャラリーの充実、企画展の内容検討などと共に、更なるHPの充実・SNSの活用を図る等PR方法の改善が必要である。 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底して取り組んでいく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○特定天井を改修し、安全を確保する。 ○特定天井の改修工事に合わせて、展示室のパネルの一部をリニューアルするとともに、HPやSNSなどを活用して周知するだけでなく、ウェブ上でも一定の情報が得られるよう内容を充実する。 ○引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況に合わせ、必要な対策を講じる。					
議会、利用者等からの意見	・平成28年2月予特、9月決特 ふるさと文化館の名称変更等について ・平成29年2月決特 伝統工芸ギャラリーについて ・平成29年9月決特 ふるさと文化館の名称変更、施設の位置付け等について ・令和3年9月会議 区制100周年に向けた、荒川ふるさと文化館の活用について					



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉館したことにより、観覧者数(有料)が減少したが、3年度はやや回復した。



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉館したことにより、観覧者数(無料)が減少したが、3年度はやや回復した。

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-02		
施設名	生涯学習センター				
所在地	荒川三丁目49番1号				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	昭和45年			
	増改築①	平成8年	303,300		
併設施設	教育センター				
竣工年月日	昭和45年		区職員	その他	
供用開始年月日	平成9年		職員数	0	20
構造	RC造		階層	4階	
面積	敷地面積	6,766.09 m ²			
	延床面積	2,970.35 (4530.36m ² のうち) m ²			
設置目的・経緯	区民の生涯にわたる学習の場の提供や講座の開催、生涯学習の情報提供、学習相談など、学習活動の推進を図る。				
関連部署	文化交流推進課、教育委員会事務局教育センター、福祉部高齢者福祉課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立生涯学習センター条例・施行規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	50台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	(株)読売・日本テレビ文化センター	期間	平成30年4月1日 令和5年3月31日	から まで
事業内容	区民カレッジ、サークル活動の支援、学習活動の相談、生涯学習情報提供、IT学習・専修学校公開講座				
対象者	荒川区内在住・在勤・在学者等				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時			
	休日	年末年始、館内整備等による臨時休館			

施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
	利用者数(人)		134,378	138,933	66,259	91,925
利用件数(件)		7,351	5,911	5,855	4,508	6,000
区民カレッジ講座数		76	74	58	62	57
区民カレッジ受講者数		4,046	3,226	1,823	2,600	3,000
IT講習会参加者数		938	731	589	641	500
IT自習室参加者数		637	966	418	640	700
貸室稼働率		65	63	41	63	65
に指定 用係等 管理 費	指定管理料(千円)	66,734	67,472	68,742	65,412	62,056
	指定管理者の支出合計(千円)	63,436	62,613	60,216	58,345	60,935
	指定管理者の人員費(千円)	18,947	19,351	19,608	19,189	21,330
	指定管理者の利用料金収入(千円)	1,996	1,988	1,448	2,107	1,140

備考 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で施設の一部利用制限を行ったことにより、令和元年度と比較して利用者数、利用件数が減少している。また、区民カレッジ、IT講習会についても、定員数を制限して実施したことにより、受講者数が減少している。

III 財務諸表

(単位:千円)

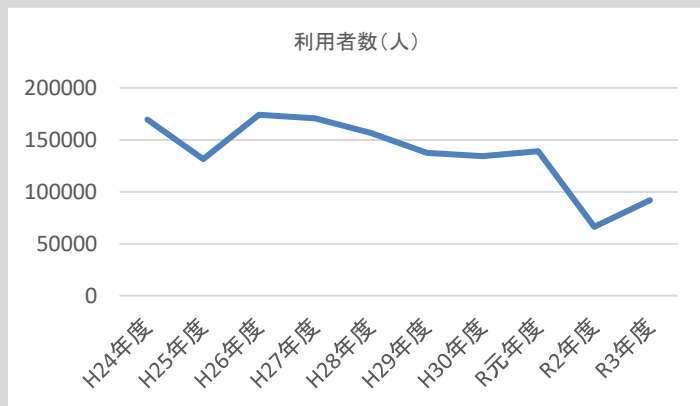
行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	
	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0
	物件費	73,154	69,450	▲ 3,704		国庫支出金	0	0	
	維持補修費	3,421	0	▲ 3,421		都支出金	0	0	
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	
	補助費等	48	48	0		使用料及び手数料	0	19	
	減価償却費	1,083	2,378	1,295		その他	4,986	5,697	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	4,986	5,716	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 84,448	▲ 66,160	
	その他行政費用	11,728	0	▲ 11,728		金融収支差額(d)	0	▲ 3	
	行政費用合計(b)	89,434	71,876	▲ 17,558		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 84,448	▲ 66,163	
	特別費用(g)	923	0	▲ 923		特別収入(f)	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 923	0	923		当期収支差額(e)+(h)	▲ 85,371	▲ 66,163	
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	4,552	4,552	0
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0
	固定資産	有形固定資産	50,865	49,931	▲ 934		賞与引当金	0	0
		土地	35,226	35,226	0		その他の流動負債	4,552	4,552
		建物	183,944	183,944	0		固定負債	21,200	16,648
		建物減価償却累計額	▲ 170,717	▲ 171,603	▲ 886		特別区債	10,200	10,200
		工作物等	20,213	20,213	0		退職給与引当金	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 17,800	▲ 17,848	▲ 48		その他の固定負債	11,000	6,448
	無形固定資産	0	0	0		負債の部合計	25,752	21,200	
	建設仮勘定	0	0	0		正味財産	49,829	52,003	
	その他の固定資産	24,716	23,272	▲ 1,444		正味財産の部合計	49,829	52,003	
	資産の部合計	75,581	73,203	▲ 2,378		負債及び正味財産の部合計	75,581	73,203	

備考 行政費用では、指定管理料55,730千円を含む、物件費が多くかかっている。その他収入では、指定管理料返納金5,264千円その他、光熱水費、情報公開手数料の収入があった。なお、2年度は維持補修費として電話設備修繕や多目的室空調設備修繕、その他行政経費としてブロック塀改修工事の一部やエレベーター改修工事が計上されている。

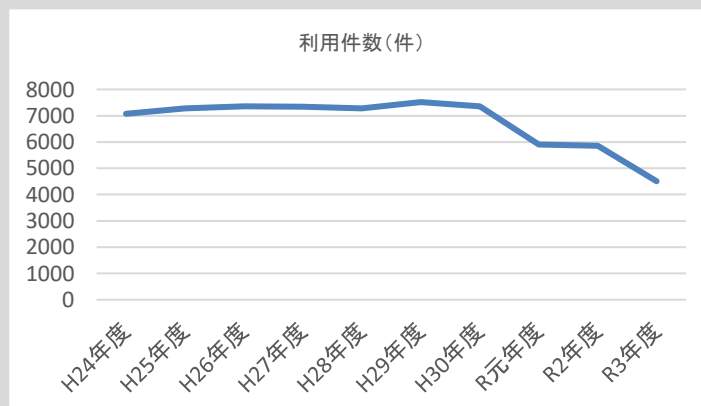
指標		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	92	92.8	
	1㎡当たりコスト(円)	16,074	16,087	19,741	15,865	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	30	31	33	32.9	
	開館1日当たりコスト(円)	204,548	204,713	251,219	201,899	
	利用者1人当たりコスト(円)	542	524	1,350	782	
	区民1人当たりコスト(円)	339	340	417	335	
	受益者負担比率(%)	3	3	2	3.3	
備考	令和2年度はブロック塀改修工事を実施していたこと、新型コロナウイルスの影響により利用者数が減少していたことから、利用者1人当たりコスト等が増加していたが、令和3年度は工事がなく、利用者数が増加したことからコストが下がった。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	利用件数	目標値 7,500	7,500	6,000	6,400	6,000
		実績値 7,351	5,911	5,855	4,508	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ● 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● その他(令和5年度より直営化)					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ~平成15年度 直営 平成16・17年度 委託 平成18年度~ 指定管理) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	区民の生涯学習活動の拠点施設として、生涯学習を推進していく必要性は高い。					
現状・課題	○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策、接遇の向上に徹底して取り組んでいく必要がある。 ○給排水設備、空調設備など老朽化した設備を計画的に修繕する必要がある。 ○区の生涯学習の拠点として直営化するにあたり、講座内容やサービスを根本的に見直す必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○指定管理事業者と情報共有を細めに行い、感染症対策の徹底及び利用者が満足できるよう更なる接遇の向上に努める。 ○老朽化した空調設備の更新など、利用者がより安心して快適に利用できる施設環境を整える。 ○新たな講座カリキュラムの作成や相談・支援機能の強化、契約準備など、直営化に向けた準備を進める。					
議会、利用者等からの意見	平成29年度 11月会議 「体育館への空調設置について」 平成30年度 9,11月会議 「体育館への空調設置について」 令和元年度 決特 「コンピューター室におけるPCの性能について」 令和3年度 予特 「生涯学習センターの機能再編について」					



R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で施設の一部利用制限を行ったことにより、R元年度と比較して利用者数が減少している。



R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で施設の一部利用制限を行ったことにより、利用件数が減少している。

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-03		
施設名	町屋文化センター				
所在地	荒川区荒川七丁目20番1号				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和63年			
	増改築①				
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	昭和63年9月30日		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和63年11月1日	職員数	0	25	
構造	鉄骨鉄筋コンクリート	階層	3階		
面積	敷地面積		4,137.28 m ²		
	延床面積		2,400 m ²		
設置目的・経緯	多くの区民の学習・文化活動の場を提供し、生涯教育の推進と地域文化の振興を図る。				
関連部署	文化交流推進課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立町屋文化センター条例、同施行規則、荒川区立町屋文化センターの使用の予約に係る手続き等に関する要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	80台	対応状況	●点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団	期間	平成30年4月1日 から 令和5年3月31日 まで
事業内容	文化・カルチャー講座、自主事業（一日文化体験・なないろひろば）等			
対象者	荒川区内在住・在勤・在学者等			
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時		
	休日	年末年始、年3回の保守点検日		

施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度（見込み）
	貸室利用者数（人）		174,283	158,924	77,944	105,176
貸室利用件数（件）		6,483	5,973	3,859	4,709	4,200
貸室ホール稼働率（%）		76	69	58	61	47
カルチャー講座数（講座）		689	654	504	531	232
カルチャー講座受講者数（人）		4,069	3,879	2,901	2,961	1,552
指定管理料（千円）		24,627	25,116	31,269	31,542	31,023
に指定 に係る 等管理 費	指定管理者の支出合計（千円）	38,342	37,054	37,373	40,497	42,738
	指定管理者の人員費（千円）	3,435	3,659	3,841	10,430	20,395
	指定管理者の利用料金収入（千円）	13,410	13,025	6,955	8,997	11,483

備考 令和3年度は新型コロナウイルス感染症やリニューアル工事の影響により、元年度以前より貸室利用者数等が減少した。また、カルチャー講座運営事業者の撤退の影響により、4年度はカルチャー講座数、受講者数が大幅に減少している。それに伴い貸室利用者数等も減少する見込である。

III 財務諸表

(単位:千円)

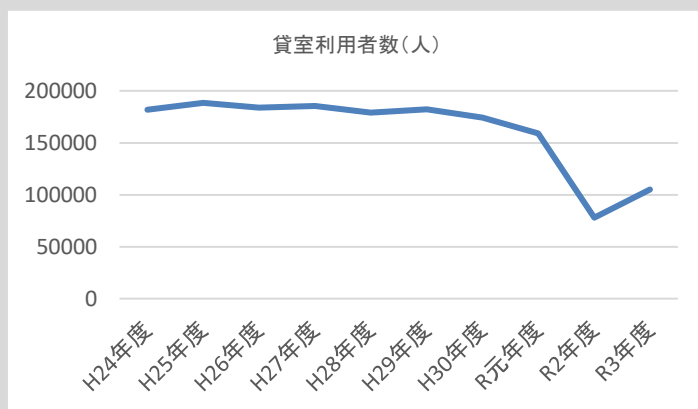
行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
物件費		31,420	34,384	2,964	国庫支出金	0	0	0
維持補修費		0	0	0	都支出金	0	0	0
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等		15,068	15,068	0	使用料及び手数料	0	0	0
減価償却費		18,096	18,096	0	その他	1,747	3,822	2,075
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	1,747	3,822	2,075
賞与・退職給与引当金繰入額		0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 62,837	▲ 63,726	▲ 889
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		64,584	67,548	2,964	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 62,837	▲ 63,726	▲ 889
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 62,837	▲ 63,726	▲ 889	
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	749,056	854,776	105,720	その他の流動負債	0	0	0
	土地	657,907	657,907	0	固定負債	0	0	0
	建物	670,212	794,028	123,816	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 579,063	▲ 597,159	▲ 18,096	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	759,054	883,551	124,497	
建設仮勘定	9,998	27,200	17,202	正味財産の部合計	759,054	883,551	124,497	
その他の固定資産	0	1,575	1,575	負債及び正味財産の部合計	759,054	883,551	124,497	
資産の部合計	759,054	883,551	124,497					

備考 3年度は、物件費として指定管理料の他、リニューアルに伴う初度調弁等2,842千円の費用がかかっている。また寄付金2,000千円含む収入があった。固定資産では、有形固定資産として、実施設計委託、デザイン監修委託を含むリニューアル改修工事に係る費用が増加している他、その他の固定資産として、床面プロジェクション1,575千円が計上されている。

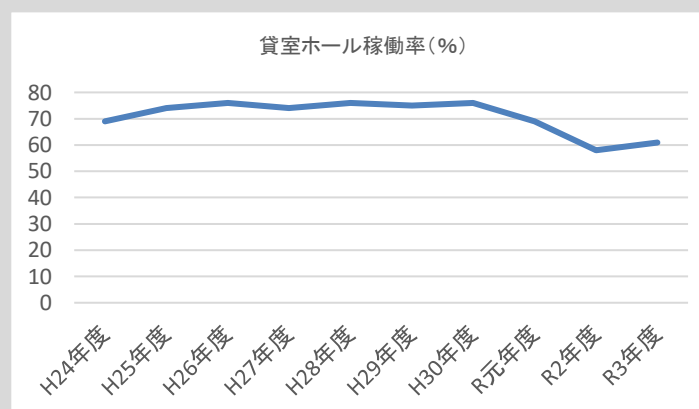
指標		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	81.0	84	86	75.2	
	1㎡当たりコスト(円)	24,689	24,683	26,910	28,145	
	人にかかるコストの割合(%)	9	10	10	26	
	開館1日当たりコスト(円)	16,644	16,640	18,142	18,974	
	利用者1人当たりコスト(円)	340	373	829	642	
	区民1人当たりコスト(円)	276	276	301	315	
	受益者負担比率(%)	19.0	18	7	8.4	
備考	令和3年度は再委託していた清掃事務の一部について、臨時職員を直接雇用し実施したため、人件費が増加し、人にかかるコストの割合が増加した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	利用者数(人)	目標値 180,000	180,000	122,000	128,800	84,700
		実績値 174,283	158,924	77,944	105,176	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ~平成17年度 委託 平成18年度~ 指定管理) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	生涯学習等の情報の収集、芸術文化の鑑賞、地域社会での交流					
現状・課題	①リニューアル工事の対象となっていない設備は老朽化が進んでいる状況である。 ②新型コロナウイルス感染症の影響やカルチャー講座運営事業者の撤退により、施設利用者数が落ち込んでいる。					
課題に対する現時点での考え	①老朽化している設備について、利用者の安全と利便性を第一にイーストヒル町屋管理組合や指定管理者と検討していく。 ②感染対策を実施しながら、街なかピアノの活用等来館者を増加させ、施設利用につながる取り組みを指定管理者と検討していく。					
議会、利用者等からの意見	平成30年度11月会議 町屋文化センターの改修について 平成30年度2月会議 町屋文化センターのリニューアル状況の検討について 令和元年度決特 町屋文化センターリニューアルの進捗状況について 令和3年度予特 町屋文化センターリニューアルについて					



令和3年度は新型コロナウイルス感染症やリニューアル工事の影響により、元年度以前より貸室利用者数が減少している。



令和3年度は新型コロナウイルス感染症やリニューアル工事の影響により、元年度以前より貸室稼働率が低下している。

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-04		
施設名	清里高原ロッジ及び清里高原少年自然の家				
所在地	山梨県北杜市高根町清里3545番5				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和58年 810,551	199,563	0	610,988
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和58年4月15日		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和58年4月15日	職員数	0	10	
構造	RC造	階層	2階		
面積	敷地面積	32,322 m ²			
	延床面積	3,999.96 m ²			
設置目的・経緯	区民の健康増進、青少年の健全育成				
関連部署	指導室、学務課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立清里高原ロッジ条例、荒川区立清里高原少年自然の家条例、両条例施行規則				
駐車場の状況	約20台	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input checked="" type="radio"/> トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	(株)ニッコトラスト	期間	令和3年4月1日 令和5年3月31日	から まで	
事業内容	移動教室等の宿泊事業、一般団体及び社会教育関係団体の宿泊、指定管理者自主事業等					
対象者	荒川区内及び山梨県北杜市に在住、在勤、在学者等					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	11月上旬～4月下旬				
施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
	一般利用者(人)	2,546	2,857	312	692	2,524
	学校利用者(人)	5,516	5,661	0	1,602	5,524
	合計(人)	8,062	8,518	312	2,294	8,048
	施設稼働率(%)	37	26	4	13	32
	開所日数	187	260	127	213	191
に指定 係等 管理 費	指定管理料(千円)	56,784	57,091	60,079	74,661	67,562
	指定管理者の支出合計(千円)	89,252	88,357	61,617	81,196	84,694
	指定管理者の人件費(千円)	21,735	22,757	22,037	24,907	22,559
	指定管理者の利用料金収入(千円)	21,611	22,512	1,206	6,471	20,437
備考	一般利用は、積極的なPRや指定管理者の自主事業の実施等により、令和元年度までは増加傾向にあったが、令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で減少した。					

III 財務諸表

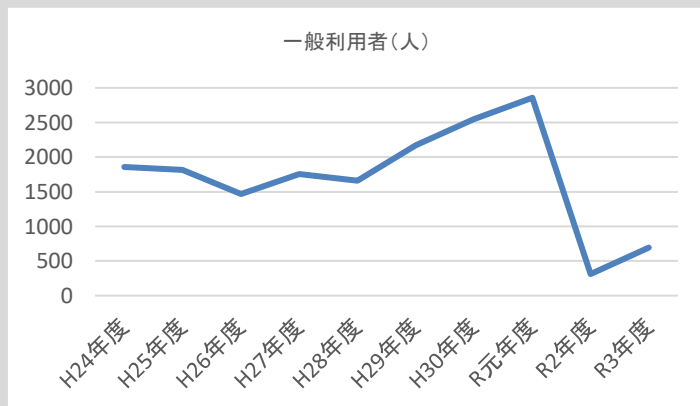
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	68,127	98,053	29,926	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	1,145	0	▲ 1,145	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	9,170	8,315	▲ 855	その他	0	2,592	2,592
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	2,592	2,592
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 78,442	▲ 103,776	▲ 25,334
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	78,442	106,368	27,926	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 78,442	▲ 103,776	▲ 25,334
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 78,442	▲ 103,776	▲ 25,334	
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	111,303	105,455	▲ 5,848	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物	964,287	964,287	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 852,984	▲ 858,832	▲ 5,848	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	94,259	94,259	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 94,259	▲ 94,259	0	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	114,171	105,856	▲ 8,315
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	114,171	105,856	▲ 8,315	
その他の固定資産	2,868	401	▲ 2,467	負債及び正味財産の部合計	114,171	105,856	▲ 8,315	
資産の部合計	114,171	105,856	▲ 8,315					
備考	行政費用では、燃料費等の高騰等により指定管理者委託料74,661千円を含む物件費が多くかかっている。その他の行政収入では、指定管理料の返納金及び参加者等の賄費の収入があった。							

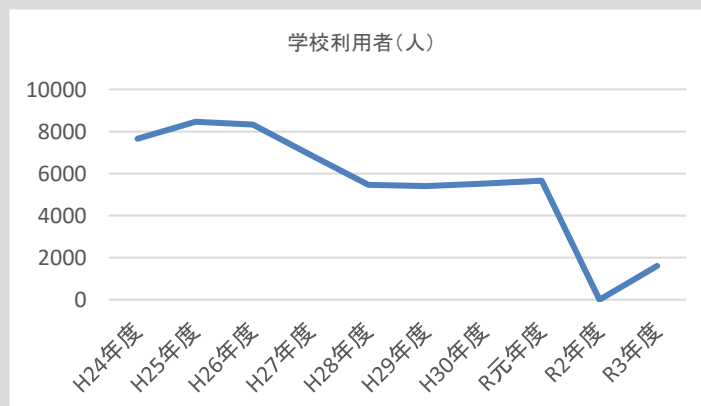
	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率	86	89	90	90.0	
	1㎡当たりコスト(円)	33,345	32,501	19,611	26,592	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	24	27	36	30.7	
	開所1日当たりコスト(円)	713,257	500,012	617,654	499,380	
	利用者1人当たりコスト(円)	16,544	15,262	251,417	46,368	
	受益者負担比率(%)	13.0	14	2	5.7	
備考	令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大により小学校の移動教室は縮小して実施、中学校は中止、一般利用は個人利用のみ利用可能としたため、移動教室が全面的に中止になった令和2年度と比較して利用者一人当たりコストは減額となったものの、平成30年度及び令和元年度と比較して高い状態が続いている。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	一般利用者数(人)	目標値 2,300	2,700	2,014	5,943	2,524
		実績値 2,546	2,857	312	692	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ○ 民営化 ○ その他() ○ 他施設との統合 ○ 廃止					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ~平成17年度 委託 平成18年度~ 指定管理) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○開設から39年が経過しており、施設、設備を含めた計画的修繕が必要である。 ○令和3年度から指定管理者が変更となったが、これまでどおり利用者が満足できる施設運営を行う必要がある。 ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を十分に考慮し、施設の運営を進める必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○施設の法定点検や日常点検を確実に実施し、要対応箇所が確認された場合は迅速に修繕等の対応を行う。 ○利用者アンケート等をもとに利用者のニーズをしっかりと把握し、利用者満足度の維持に努める ○利用者が安心して施設を利用できるよう、引き続き新型コロナウイルス感染対策を実施し施設を運営する。					
議会、利用者等からの意見	○平成28年度 予特 施設を活用した高地トレーニング等の提案について ○平成29年度 予特 自然体験や文化芸術の合宿等での活用について ○平成30年度 決特 冬季開設について ○令和3年度 決特 ランニング合宿について					



R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、個人利用のみ利用可能としたため、R元年度と比べて一般利用者数が大きく減少している。



R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、小学校の移動教室は縮小して実施、中学校の移動教室は中止となったため、R元年度と比べて学校利用者数が大きく減少している。